

平成24年度
実施事業

事務事業名	広域入所（他市町村への保育委託）
-------	------------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	3	子育て環境の整備
主要な施策	1	①保育所、幼稚園における保育・教育の充実及び環境の整備
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 11 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	保護者の勤務地等の都合により、他市町村の保育所への入所を可能とすることで、送迎の場所や時間等の利便性が配慮され、子ども・保護者の負担を軽減することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	平成11年度の児童福祉法の改正により、他市町村への保育所への入所が可能（※保護者等の勤務地が市外にあるなど特別な事情がある場合に限る。）となり、他市町村との委託契約を締結のうえ、市外の保育所への入所を承諾する。 ▼委託先：室蘭市
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	子ども・保護者の利便性が図られるよう受け入れ先の市町村との調整を行なう。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 保育所運営費負担金	千円		92			
道支出金	名称 保育所運営費負担金	千円		46			
地方債	名称	千円					
その他	名称 保育所運営費保護者負担金	千円	598	196	851	851	851
一般財源	名称	千円	333	349	1,163	1,163	1,163
事業費 合計			931	683	2,014	2,014	2,014

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 広域入所児童数	人	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	1			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
保護者からの問い合わせにより、他市町村との調整を行ってきた。	要望があれば今後も他市町村と調整を図っていく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 本事業は、児童福祉法に定められた特例的事項で、保護者の就労支援等に有効な事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 保護者からの要望があれば特殊事情を考慮せざるを得ず、必要性の高い事業と考える。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 本事業に係る委託料は、国が定める保育単価に基づいて行っている。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 要望があれば出来る限りの調整を図っているが、実績値のみでは判断が難しい。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は、原則、居住地の市町村の保育所に入所すべきところを、保護者の就労形態や家庭の特殊事情を考慮し、保育を委託している。引き続き、必要な事業と考えるが、各市町村の入所状況を踏まえた活用となる。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)